

私たちの活動や意見を仲間
で共有します。
会費は県と日本平和委員会
の活動も支えます。

土浦平和の会ニュース

2023年8月15日 第378号

発行：土浦平和の会

事務局：土浦市烏山2-530-296

HP：//tutiraheiva.web.fc2.com/

酷暑にめげず、夏の平和行事旺盛に 2023原爆と人間展 (8/4~8) に 623人 ピースデー (8/6) に 50人



「2023原爆と人間展」と「ピースデー」の全プログラムが、参加者に多くの感動と激励を与えて終了しました。

写真展は4日間で623人が鑑賞、夏休み行事後に立ち寄ってくれた小学生と父母の皆さん、戦争世代と思われる老人など、食い入るように絵画・写真に見入る姿も。

この催しに合わせて、毎年数千羽の折り鶴を寄せてくれる方からは今年も色鮮やかな折り鶴が届きました。



被爆の実相伝える高校生の絵画に見入る。

ピースデー(8/6) 多彩なプログラムで

ピースデー午前の部はドキュメンタリー映画「封印された原爆報告書」の上映でスタート。

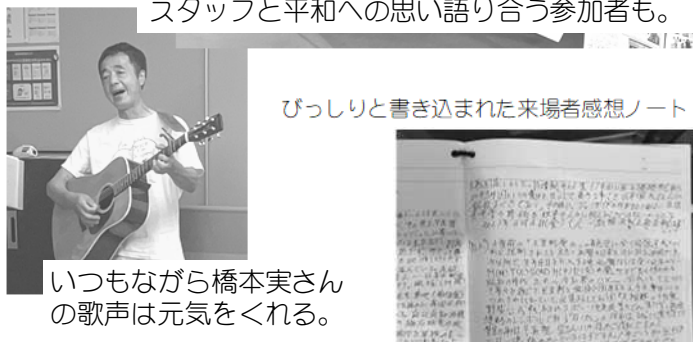
午後の部は大西陽子さんの朗読を皮切りに、ドキュメンタリー映画「声をあげる高校生たち」の上映、そして土浦市の中学生平和使節団からの報告と続き、フィナーレは橋本実さんの歌唱指導で平和の歌を全員で合唱しました。会場に笑顔と感動があふれました。



スタッフと平和への思い語り合う参加者も。

「広島での学び生かしてがんばる」 中学生平和使節団報告に感動

土浦市が毎年市内の全中学校から広島に派遣している土浦市平和使節団のうち6名が参加し、被爆地広島を視察した前後の心の変化、平和への熱い思い、将来への希望などを生き生きと語りました。(右、感想ノート 録参照)



びっくりと書き込まれた来場者感想ノート

いつもながら橋本実さんの歌声は元気をくれる。



会場からの質問にもはつらつな受け答え

■ 写真展来場者感想ノートより

本日ピースデーで中学生の皆さんの広島訪問(土浦市が派遣)の報告を聞きました。ひと言でいって「感動」です。素直に自分の言葉で参加の動機や感じたことを話してくれました。

広島の人達の優しさや広島で生きてきた人達へのリスペクトにあふれていました。

戻ってからクラス等できちんと報告し問題を共有しています。家族にも同じです。彼らのこれからの未来に期待したいと思いました。とにかく立派です。送り出した行政にも感謝です。

残念だったことは、もっと大勢で聞きたかったです。

中学生の皆さんに大きな希望を抱きました。

夏の恒例平和行事 今年もがんばりました

7/8 国民平和大行進 2023土浦行動 (ニュース前号377号で紹介)

8/4~8 「原爆と人間展」 & ピースデー特別企画 (表面で紹介)

8/12 8・15平和のつどい

映画「妖怪の孫」上映、172名が鑑賞

8月12日午後、クラフトシビックホール土浦（市民会館）では「8・15平和のつどい」企画として、映画「妖怪の孫」が上映されました。

あつてはならない凶弾に倒れた安倍元首相の実相に迫る政治ドキュメンタリー映画。

「“美しい国” “戦後レジームからの脱却”、様々なスキャンダルや疑惑に塗れながら、高い人気と分断を招い

た総理。我々は本当に彼のことを知っていたのだろうか？ 亡き彼の魂が、今も政界を動かしていないだろうか・・・」（紹介パンフレットより）

お盆前、コロナ再拡大と台風接近の不安をおして172名が鑑賞しました。

「鑑賞は2度目だが、何度もじっくりと見直したい」（かすみがうら市男性）との感想も寄せられました。



ご案内 「平和の旅」 4年ぶり復活

コロナ禍でしばらく中断していた「平和の旅」を、「憲法九条土浦の会」と共催で11月7～8日に予定しました。

旅先は福島県で、1日目は観光、飯坂温泉泊、2日目は原発事故被災地南相馬市小高地区の見学を中心に企画しています。

詳細な行程、費用などは追ってお知らせします。

平和の旅の記憶 (2011年～)

- 2019年 栃木県／下野・栃木路
- 2018年 山梨県／晩秋の甲州路
- 2017年 長野県／信州と平和
- 2016年 千葉県／館山の戦跡・史跡
- 2015年 長野県／阿智村、天竜峡
- 2014年 群馬県／田中正造を現代に
- 2013年 福島県／平和博物館・会津
- 2012年 神奈川／戦争遺跡・米軍基地
- 2011年 東京都／軍都新宿ウオッチング



2018年／秋の甲州路

地域医療を考える住民ネットワークが総会

6年目迎えた医療従事者と患者・住民の連携

7月22日、「地域医療を考える住民ネットワーク」が総会を開きました。（ワークヒル土浦）

2017年、土浦協同病院の存続の懸念を契機に結成された医療従事者（土浦協同病院や霞ヶ浦医療センターなどの労組）と患者・地域住民の連携によって発足したネットワークは、今年に入り医療の道をめざす20代の青年も加わり、いま着実に歩んでいます。



鈴木祥司先生（霞ヶ浦医療センター院長）が講演

上記ネットワーク総会に続き、第2回「地域医療を考える学習講演会」が開かれ、霞ヶ浦医療センター院長の鈴木祥司先生が講演しました。コロナ感染拡大により延期となっていた講演の4年越しの実現。41名が参加しました。

鈴木先生は、霞ヶ浦医療センターが地域医療の充実になくなくてはならない役割を果たしていることを詳細に語られました。参加者からは「貴重なお話が聞けました。鈴木先生のお優しい語りと印象、志に感銘を受けました。」との感想が寄せられました。

憲法共同センター 次回行動は 8/19

8月街頭アピール行動

憲法9条生かした平和外交を！

8月19日(土) 午前10時～

ケーズデンキ真鍋店前

思い思いのメッセージ・フリップカードをちっくして参加ください



【平和の会へのおさそいを。「平和新聞」購読も広げましょう】

- 幅広い年代からの加入を勧めましょう。ご家族・ご近所・友人・知人などにお声かけを
- 会費：月額500円、「平和新聞」（毎月5、15、25日発行）：月額593円(送料含)

